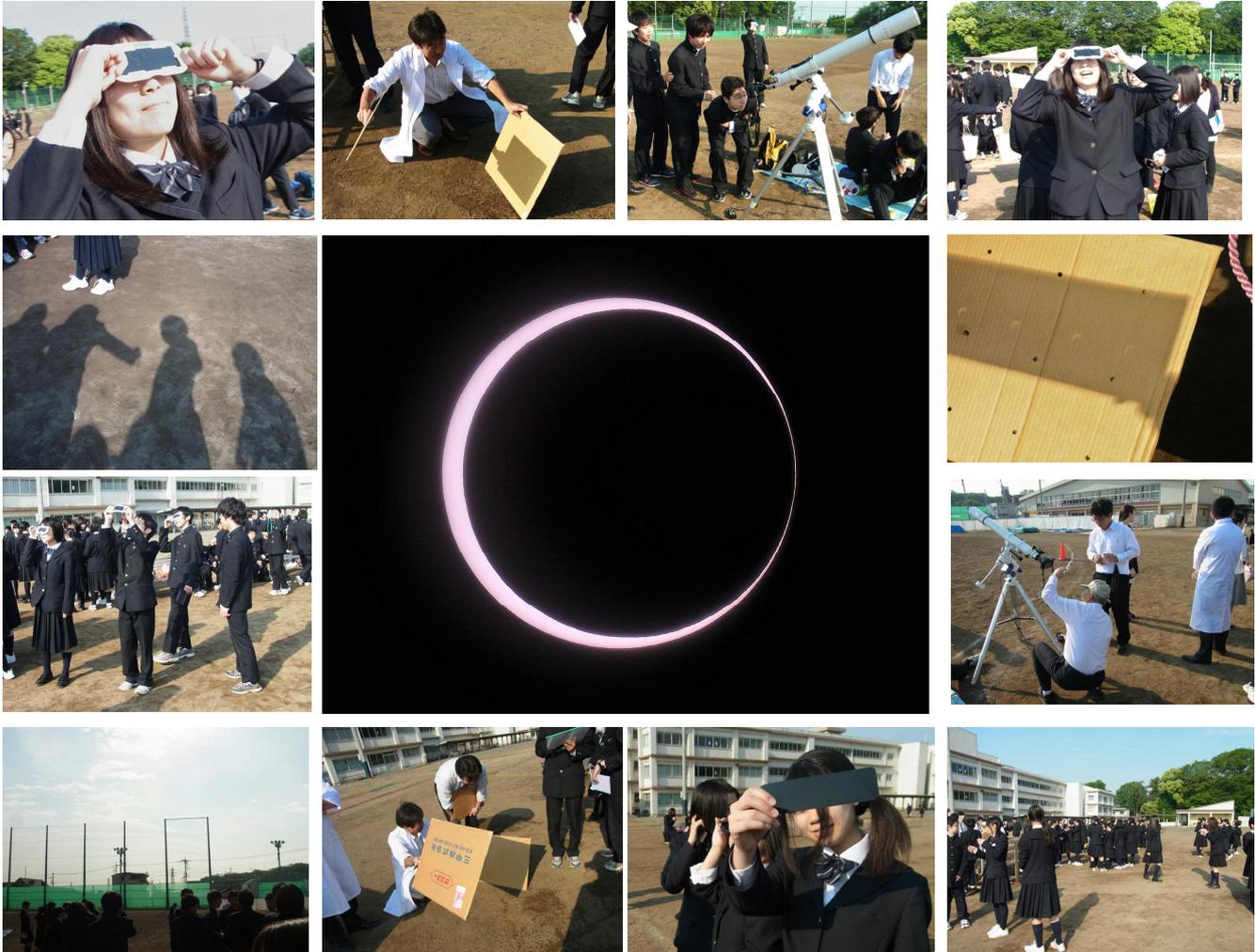


金環日食 2012.5.21



2012年5月21日午前7時33分28秒。その瞬間、月が太陽の中にすっぽりに入る「**中心食**」が始まった。どこからとなく歓声が上がった。曇りか下手をすれば雨が降るという予報もあったが、絶好のコンディションに恵まれた天体ショーは、多くの生徒たちの記憶に残るものとなった。

6時20分。いよいよ「食」(太陽が月に隠れること)が始まった。予定通りとはいえ、実際に太陽が欠ける様子を目の当たりにすると感動である。少しずつ、だが着実に欠け続けている。辺りは心なしか暗くなってきたかなと思っている内に本当に暗くなってきた。さらに、肌寒さも加わってきた。

7時を回ると、生徒たちが続々と校庭に集まってきた。**中高生合わせて100名**は超えていただろう。皆、観察用ゴーグルを手に空を見上げている。ワクワクする光景である。

7時33分、いよいよクライマックスがやってきた。カウントダウンをするように、時間通りにきっちりと金環食が完成した。この日、金環食は7時33分28秒から37分42秒までの約4分間にわたって観察できた。以下の写真は、佐高の望遠鏡で撮影したものである。(上の金環食以外の全ての写真は、高1の**青山さん**が撮影)

